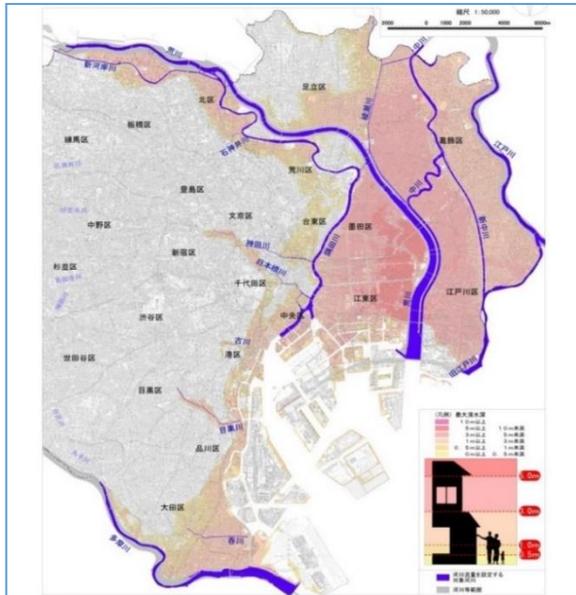
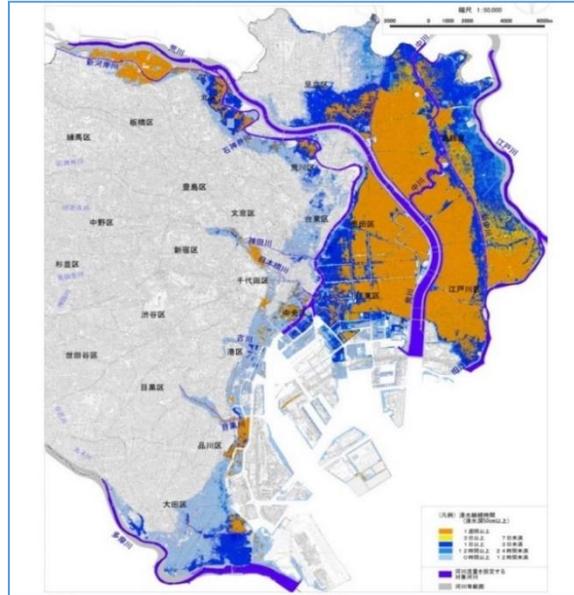


目的

- 平成30年3月に公表した高潮浸水想定区域図によると、東部低地帯を中心に大規模な水害が発生することが判明（最大浸水深 5 m以上 最大継続時間 1 週間以上）
- 大規模水害時において、速やかな排水により浸水を解消し早期の復旧・復興を図るため、排水施設や排水ポンプ車等の効率的な運用方法等を取りまとめた「東京都における排水作業準備計画」を作成**



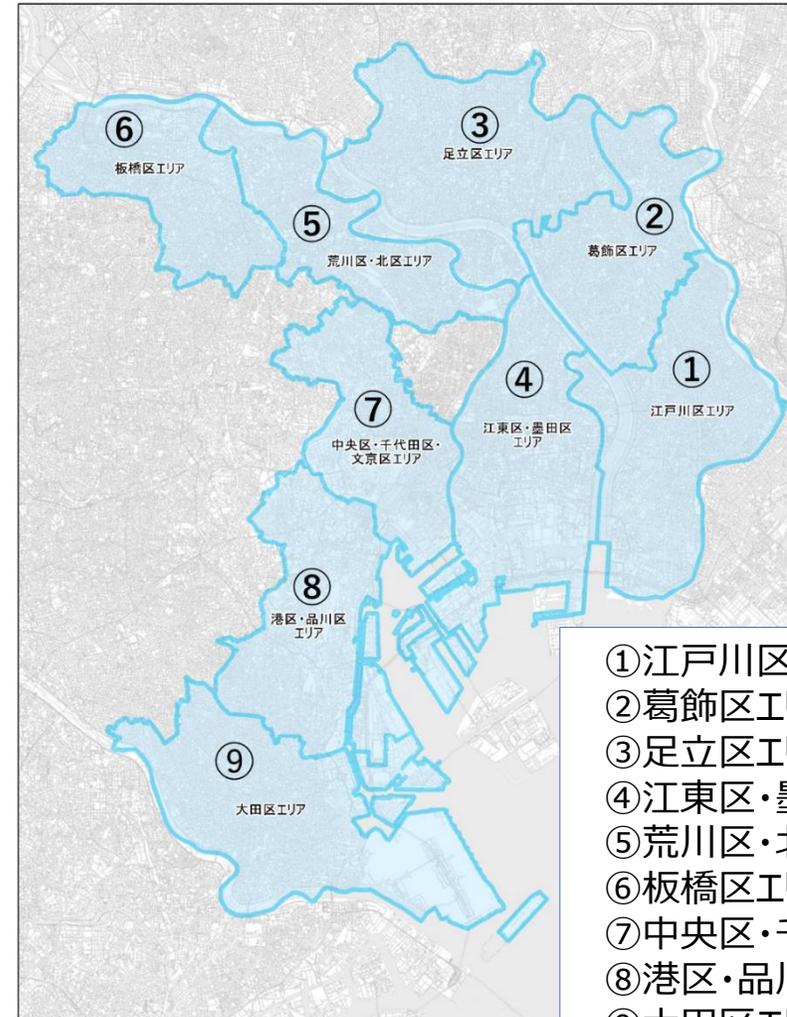
<高潮浸水想定区域図>
(浸水深)



<高潮浸水想定区域図>
(浸水継続時間)

対象区域

- 高潮浸水想定区域図において72時間以上浸水が継続する14区を9エリアに分割



- ①江戸川区エリア
- ②葛飾区エリア
- ③足立区エリア
- ④江東区・墨田区エリア
- ⑤荒川区・北区エリア
- ⑥板橋区エリア
- ⑦中央区・千代田区・文京区エリア
- ⑧港区・品川区エリア
- ⑨大田区エリア

準備計画の概要

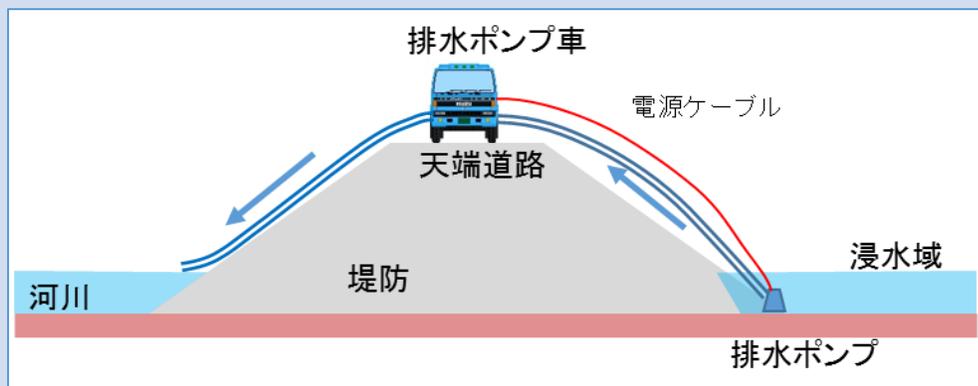
以下の2つの事項により構成

- ①全エリア共通事項（対象となる全区に共通する事項）
- ②エリア別事項（エリアごとに固有の事項）

① 全エリア共通事項

主な内容

- **排水作業開始までの流れ**
災害発生から堤防の状態や浸水の状況を踏まえ、排水計画を立案し、排水作業を開始するまでの流れを明示
- **排水ポンプ車等の保有状況、諸元**
都や国土交通省、東京消防庁が所有する排水ポンプ車等の保有状況や諸元を整理
- **排水ポンプ車等の配置方法**
排水ポンプ車や消防ポンプ車等の配置条件及び配置パターンを整理



<排水ポンプ車の配置イメージ（土堤）>



<都所有の排水ポンプ車>

準備計画の概要

② エリア別事項

主な内容

- **排水施設の位置や集水区域、排水施設への燃料補給ルート**

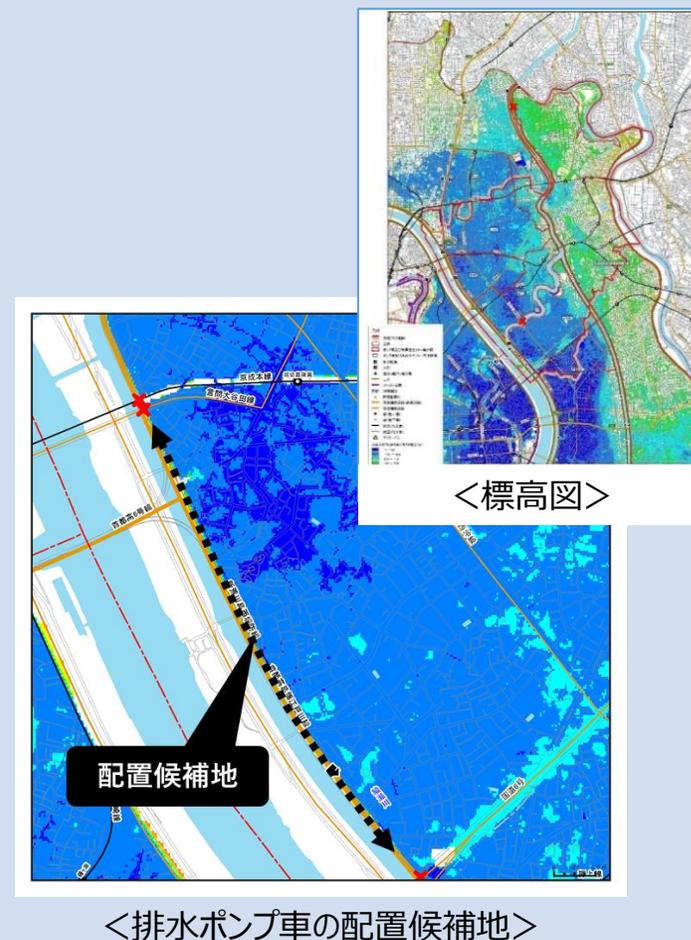
排水施設やその集水区域などを図示
各排水施設への燃料補給ルートを選定

- **標高図、排水ポンプ車の配置候補地**

標高や高速道路ICの位置などを明示
排水ポンプ車の配置候補地を選定

- **堤防種別など河川施設の情報**

堤防種別や水門・樋門・樋管等の
河川施設の情報を整理



実施日時・参加機関等

[実施日時] 令和6年9月13日(金)10:00～11:00
[実施場所] 新中川右岸上一色橋上流(江戸川区上一色三丁目)
[参加機関] 東京都建設局
 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所
 地元自治体
 災害時協定締結団体(東京都コンクリート圧送協同組合) 計37名

[想定]

街区にて大規模な浸水が発生したことを想定し、東京都及び荒川下流河川事務所による排水ポンプ車の配置訓練を実施するとともに、災害時の応急復旧協定に基づき実施する東京都コンクリート圧送協同組合所有のコンクリートポンプ車による排水作業の手順や関係機関の連携要領を確認する。



参加者集合



訓練概要説明



各機関が保有する機材の確認



訓練総括(連携要領の認識共有)

訓練結果

[各機関が保有する車両の性能把握]

種別	排水能力(最大)	作業範囲	必要作業スペース	ポンプ
(都)排水ポンプ車	10 m ³ /分	40 m(電源コード長)	幅2.5m程度	可搬式
(国)排水ポンプ車	30 m ³ /分	45 m(電源コード長)	幅3m程度	可搬式
コンクリート圧送車	50 m ³ /時	10～20 m(ブーム長)	幅5m程度	車載式

※コンクリート圧送車は、車載のポンプを逆回転させることにより、ブームの先端より水を吸い込むことが可能

[訓練結果]

各関係機関が保有する車両性能や活動要領を確認。災害発生時の効果的な連携について、各機関が共通認識を持つ機会となった。



堤防上での車両配置状況



排水ポンプ車配置訓練



関係機関の車両説明(東京都建設局・荒川下流河川事務所・東京都コンクリート圧送協同組合)

